



プレスリリース

2024年12月5日

マレリの h-Digi® microLED 照明技術 CLEPA イノベーションアワードのトップイノベーターに選出

マレリの h-Digi® microLED 技術は、CLEPA（欧州自動車部品協会）のイノベーション・アワード 2024 において「トップ・イノベーター」に選ばれました。この最先端のヘッドライト・ソリューションは、安全性を高め、手頃な価格で広範囲の車両に採用できる性能を持っており、ブリュッセルで12月4日に行われた式典で「デジタル」部門で表彰されました。

CLEPA イノベーション・アワードは、自動車部品業界におけるグリーンおよびデジタル技術の画期的なアイデアを認め、褒賞するものです。マレリが「デジタル」部門でCLEPAにより表彰されるのは、2023年のHorizonView ヘッドアップ・ディスプレイに続いて2年連続となります。このカテゴリーは、デジタル化によって推進されるモビリティ・エコシステム内のスマート・ソリューションを表彰するものです。

マレリの h-Digi® microLED モジュールは、新しいインテリジェントなマルチピクセル LED マトリックス光源をベースとし、現在市場にある従来型ソリューションよりも手頃な価格、省スペース、軽量なモジュールで、あらゆる状況に対応するダイナミックなヘッドライト操作と高解像度の画像投影を可能にしました。

h-Digi® microLED は、カメラとセンサーの組み合わせを通じて検出された物体に応じて光パターンを調整し、夜間運転をより安全なものにします。また、インテリジェントな光束照射は他の道路利用者への眩光を減少させます。この革新により、高解像度の適応型走行ビーム（ADB）の利用可能性が拡張され、安全機能を手頃な価格で市場により広く普及させることが可能となりました。

0.1度より小さいピクセルを持つ照明マトリックス・システムの解像度は、従来のLED無眩光ハイビーム・システムの10倍の解像度を持ち、より長い照射範囲を提供し、安全性を向上させます。この高解像度システムはロービームでも利点があり、田舎道カーブでの積極的な光屈曲や、高速道路での高速走行専用の光パターン、悪天候時に適応した照明機能なども可能です。また、各 h-Digi® microLED はドライバーの視線の先に、安全メッセージや警告、車線ガイドなどのシンプルな運転支援パターンを道路投影できます。このソリューションは個別化にも対応でき、ドライバーの好みに応じて「ウェルカム」や「外出します」などのメッセージを路上に投影することも可能です。

モジュールのコンパクトなデザインは、高いエネルギー効率をもたらします。25,600ピクセルを1:4のアスペクト比で構成したものと、19,200ピクセルを1:3のアスペクト比で構成したも



の2つのマイクロLEDオプションが利用可能です。光源は、マレリにより自社開発された特別な光学レンズシステムと新しい電子制御と組み合わせられています。

今回の受賞について、マレリの Automotive Lighting & Sensing 事業本部長であるフランク・フーバーは以下のように述べています。「CLEPA の『トップ・イノベーター』賞は、照明分野でのマレリの技術リーダーシップの証左として素晴らしい評価です。マレリの技術はデジタル照明ソリューションで他に類のない顧客体験を創り出します。我々の h-Digi® microLED は非常に効率的で、手頃なコストで道路安全と運転快適性に新基準を打ち立てるものです。チームやお客様、パートナーとの共創の成功に誇りを持っています。」

訳注：当文書は 2024 年 12 月 5 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 5 万人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 170 の施設と研究開発センターを有しています。